



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

年頭のご挨拶

横浜スペイン協会 会長 下山利明

2019年の新しい年を迎え、皆様方のご多幸を心からお祈り致します。昨年は、スペイン・日本の外交樹立150年という大きな節目の年で、多くの記念イベントが開催されました。私が参加したイベントを振り返ってみますと、オープニングセレモニーに始まり、ベラスケス展、マリア・パヘス公演、会員の高木洋子さんのピアノコンサート、桜田ゆみさんのサルスエラ公演、サンティアゴ・デ・コンポステーラ冬の道巡礼、そして最後は写真展と積極的に参加して、スペインに関して多くの事を学び、そして更に理解を深める事が出来ました。特に、印象的だったのは、多くの現地の方と交流したポンフェラーダからサンティアゴ・デ・コンポステーラまで12日間、約300キロを完歩した巡礼でした。さて、協会の活動もここ数年、年を重ねる毎にスペイン語クラス、スペイン・サロン、スペインサークル等の企画、イベントのコンテンツを充実させ益々活性化しています。今年は従来の活動に加え、大学や民間のスペイン語圏の方々、そして日本の交流協会の関係者との交流と連携の強化を積極的に推進して行きたいと思っております。来年、2020年は設立30周年を迎えます。これに向かって記念イベントの開催準備も進めて参ります。毎年、繰り返しになりますが、スペイン文化の普及と友好関係の向上というのは、当協会の基本方針です。これを忘れず自分は何をすることが出来るかを考えながら、皆様と一体感を持って活動して参りますので、引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

2019年 横浜スペイン協会 活動計画

	総務・企画	スペイン語教室	スペイン・サロン	スペインサークル	会報
1月		文法講座(1-3月)		*旅でスペインを識ろう会 毎月第2月曜日	新年号
2月	新春親睦パーティー(2/2)	新聞クラス特別講座			
3月		クラス委員会	スペイン文学講座	(8月はお休み)	
4月	大使館観桜会(予定)	前期講座 開始	スペイン文学講座	*スペイン語でボランティア (CLUB 2020) 毎月第1火曜日 分科会第3火曜日	春号
5月					
6月	定時総会(6/1)				
7月		クラス委員会			夏号
8月		夏期スペイン文化講座			
9月		文法講座(9-10月)			
10月	National Day 式典	後期講座 開始	スペイン美術講座		秋号
11月			スペイン美術講座		
12月			スペイン料理教室		

●スペイン語クラス

後期に入り「文法講座」とお試し講座「チャルラ」の2講座を開講致しました。

1) ここが聞きたい「文法講座」

スペイン語を学び始めた方には、文法を理解する助けとして、すでに学んだ方には復習として、スペイン語を学ぶ方であればどなたにでも受講して頂けるクラスとして開講致しました。前半3回は山田り子講師、後半4回は栗山由美子講師にご指導頂く講座となっています。山田講師の講座は開講にふさわしく1回目講座は「文の要素、発音」についてでした。続く2回目講座「Hay, Estar, Serの使い方とその違い」では適切な資料と明快な説明を頂き大変好評でした。これから始まる後半の4回(1月から3月まで)では「点過去、線過去」「再帰動詞とさまざまなse」の講座です。この講座は、発表後間もなく満席となっています。上記文法クラスは、2018年度後期の企画として開講されましたが受講者のご希望のテーマを取り入れるとともに、開講期間も要望に応え2019年度も継続することになりました。(福長昭代)

2) お試しスペイン語クラス「チャルラ」

新企画の「チャルラ」は、2回目のクラスを終えて9名の参加者となりましたので、お試し期間終了後の来年1月以降も通常のクラスとして継続することとなりました。スペイン語によるディスカッション中心のクラス「チャルラ」では、初回の10月は内戦で亡くなった兵士を祀るValle de los Caídosからフランコの墓を移設すべしとする国会での議決について各自の意見を述べ合いました。また、11月はロボットやAIが社会に与える様々な影響や対策について話し合いました。いずれの事象も日本において同様の課題があり、日頃考えていることではありますが、スペイン語で自分の意見を述べるのはやはり大変です。講師のVictor先生は、クラスの1週間前に新聞記事をベースに複数の質問を付け加えた教材をメールしてくださるので、事前に自分の考えなどをまとめておくことができます。そしてクラスでは参加者の様々な意見に対して先生が適切なコメントをしていただけるので参考になります。(岩田岳久)

●対外交流

*スペイン日本外交樹立150周年写真展

2018.11.19 於：スペイン大使館展示室

日本スペイン外交樹立150周年写真展
JPN FOTOGRAFÍA DE LOS 150 AÑOS DE RELACIONES ESPAÑA



11月12日、1868年にスペイン日本修好通商航海条約が締結されてから150周年の記念すべき日を迎えました。本年はこれを記念して、様々なイベントが企画されましたが、この記念プログラムの締めくくりとして写真展が開催されました。文化・スポーツ・政治・日本皇室とスペイン王室との関係を通じて150年にわたる両国の歴史をふりかえる写真展で、そのオープニングセレモニーにお招き頂きました。冒頭、着任して間もないホルヘ・トレド駐日スペイン大使のご挨拶がありました。400年前の支倉常長訪西から始まり、最近の両国皇室・王室の交流、安倍首相のスペイン訪問、経済連携協定の締結、そして文化・スポーツを通じた両国の友好関係の深さを強調されていました。展示されている写真を拝見して、いかに両国の絆が強いかをあらためて認識しました。来賓挨拶の後の懇親パーティーでは、美味しいスペインワイン、ピンチョスを頂きながらいつもお世話になっている大使館関係者、交流協会の皆様と情報交換をしつつ懇親を深める事が出来ました。(下山利明)

*とつかお結び広場に参加しました

2018.12.2 於戸塚区役所

当イベントは戸塚区や横浜市をベースに活動するボランティア団体がパネル展示や実演、パフォーマンスなどを行うもので、2年ぶり2回目の参加です。年々盛大になっており、今年は113団体が参加、当日の来場者は3800人に上りました。田雑由紀乃 戸塚区長、当地マスコット「ウナシー」を迎えてのオープニングセレモニーを皮切りに、会場となった区役所の3階は、まさに老若男女の来



場者で溢れ、たちまち熱気に包まれました。当協会はスペインに関するクイズと参加賞としてのキャンディーを用意、多数の方にチャレンジしていただきました。なじみない方、もう少し知りたい方、完璧なスペイン通といろいろな方々とお話しでき、説明役の会長以下理事の面々も楽しく充実した時間を過ごすことが出来ました。(臼井慎一)

●旅でスペインを識ろう会

*10月22日 「サンティアゴ巡礼」 問屋正勝さん

今回は、日西外交樹立150周年にあたり両国の絆の強化のため、桜の木を植樹なさりながら冬の道を巡礼なさいました。植樹にはスペイン協会の方々や地元の名士も加わり、盛大な歓迎を受けながらの巡礼で、サンチャゴデコンポステーラでは大司教のお出迎えを受けられました。ご参加の方々には実に素晴らしい経験をなさいました。問屋さんは、巡礼宿でボランティアをなさりながら16年にもわたって巡礼をなさってこられました。原点は高校生の時の山陽道単独徒歩旅行だったとのこと。それからずっと体力、知力、語学力を鍛えられ、退職後に夢を実現なさり3か月スペイン、9か月日本という生活でボランティアは2千回、巡礼は2万キロと、まさに超人的です。でも、温厚でスリムでどこにそんなとてつもないエネルギーがおりなにかと思います。日本語とスペイン語の懸け橋になろうとの志で、医療通訳ができるまでの語学力もつけられたこと、本当に頭が下がる思いです。お話と共に観せていただいたスペインの自然や建造物、人との交流のお写真も素晴らしく、感動いたしました。(赤堀綾子)



*11月12日 「スペイン・ロマネスク探訪」 小関敏雄さん

おもに11世紀から12世紀にかけて教会や修道院の建築や彫刻、室内装飾の分野で展開されたロマネスクの芸術は、フランス、イタリア、スペインなどの国々で見ることができる。当時のヨーロッパは、あらゆる分野でイスラム諸国より後進地域で、歴史的には「中世」に当たる時代であった。ルネッサンス・大航海時代より前のヨーロッパを想像して戴きたい。今年訪ねた所を含めてたくさんの映像を見せて頂いたが、美しいカーブを描く教会の後陣建築や、着色された地下のクリプト、豊かな彩色の施されたキリスト像や柱頭には思わず目を奪われた。しかし、教会の内部に過剰な装飾は見当たらず、そこには当時の人々の素朴な祈りの原点を見る思いがした。小関さんは、ロマネスク芸術の「簡素な美しさ」「個性的な作風」「自由な発想」「幻想的な印象」に魅せられたのが、歴訪のきっかけであったと語った。加えて、教会や修道院周辺の見事な眺望や、辿り着くまでのちょっとした冒険にも大いに触発されたとも話した。6年間で170ヶ所を訪ねたということには、やはり素直に驚かざるを得ない。貴重な旅の経験を拝聴した。(江口義孝)

●シネマサロン

「ピアソラ 永遠のリベルタンゴ」(Piazzola, los años de tiburón)

監督・Daniel Rosenfeld 2017、アルゼンチン

タンゴ界の革命児アストル・ピアソラを息子ダニエルから見て「父・アーティスト」として、娘・ディアナとのテープに残された音声、家族の写真、各地から集められた映像を使い、この男の生涯をたどる。バンドネオン奏者としてまた作曲家としてタンゴを踊りの伴奏としての脇役から主役へと昇華させ、その伝統的な魅力を生かしながらジャズ、クラシックの要素も取り入れ「新しいタンゴ」というスタイルを生み出した。幼少期に移民として過ごしたニューヨーク下町での生活、タンゴの名歌手カルロス・ガルデルに認められたこと、ルービンシュタインから勧められてクラシックを学んだことなどが彼の音楽の源になったようだ。過去の楽譜は全部燃やして忘れ、批判されても前進のみ。家族を捨て、楽団も作っては壊し、ヨーロッパに



住みながら故郷を想い歌う。「アディオス・ノニーノ」、「ブエノスアイレスの夏」、「ブエノスアイレスの冬」
「ロコへのバラード」、「リベルタンゴ」その他、この映画全編に響くピアソラの音は聞く人の心を乱し、めまいを起こさせるのではと思うほど強力でした。(松本益代)

●スペイン文学余話（４）

「ヤングワスの馬方」はガリシアの馬商人？

『ドン・キホーテ』前篇第15章は、唐突に発情したロシナンテがガリシア種の雌馬の群れに近づいたために、ロシナンテのみならず遍歴の騎士主従までが馬方たちから棍棒で袋だたきにされる話であるが、この章を複数の翻訳で比較した読者は、訳者によって馬方の出身地が異なることに困惑するだろう。会田訳ではヤングワス、牛島訳ではガリシア、最新の岡村訳では再びヤングアス。ヤングア（ワ）スという地名はセゴビアとソリアに存在するが、運送業に従事する者たちの里として知られたのは後者である。馬方の出身地の異同は底本が採用したテキストによるものである。初版（1605年1月）は「ガリシアの馬方 arrieros gallegos」だったが、第2版（同年3月）では「ヤングア（ワ）スの馬方 arrieros yangüeses」となった。もっとも第15章の標題は最初から「ドン・キホーテが凶悪なヤングワスの男達と出会って遭遇した不幸な冒険が語られる」だったので、第2版で標題と本文の異同が修正されたことになる。しかし、「ヤングア（ワ）ス」にも疑問が残る。16世紀後半、ガリシア馬は小型だが強靱で乗用や農作業用に人気があった。ガリシアの牧畜業は野生の馬を捕獲して飼育し、これをアンダルシアやラ・マンチャに移動させて売りさばき利益をあげていた。「群れ manada」という表現から雌馬は相当数であることがうかがわれ、20人を越える男たちは馬で荷を運ぶ運搬業者（馬方）ではなく、馬を売りに行く商人たちであると考えられる。これなら当時の社会事情にも合致しており、野育ちの雌馬の獰猛さもひろく知られていた。ガリシア馬の群れをガリシアの馬方（商人）が連れているのは自然であることから、間違っているのは標題のほうではないかという疑問が生じる。作者以外の者、すなわち印刷業者、出版人、校正者などが出版の過程で原稿に手を入れることも珍しくなかった当時の事情を考慮すると、作者以外の誰かが標題を書き込んだために本文との異同が生じた可能性は否定できないのである。第2版の改訂が標題に合わせるかたちで行われたとすれば、むしろ初版の本文のほうを尊重すべきだというのが「ガリシア」を採用しているテキストの根拠である。一方で後篇の本文に「ヤングア（ワ）スの馬方たち」という記述があることを根拠に、セルバンテス自身が改訂を追認しているとして「ヤングア（ワ）ス」の採用を支持するテキストもあり、この議論の決着はまだついていない。
(吉田彩子)

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サンテリア 1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サンテリア 1杯無料
スペインバル ボデガ・デ・サリア	東京都港区台場2-2-1 サ・クラブ・ダ・イ・アネックスホール1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

《編集後記》『地中海式ダイエット』って聞いたことありますか？和食同様ユネスコの無形文化遺産に登録されているそうです。オリーブオイル、ナッツなど昔ながらの食生活が長寿の秘訣みたいですよ。(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 白井慎一 古賀恵子 下山利明 武菱邦夫 服部君江 平本紀子 福長昭代 松村清

投稿寄稿宛先

E-mail

全般：info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室：spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン：spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ：http://www.yokohama-spain.jp/

横浜スペイン協会

次回の原稿締切は

3月15日(金)です